

-Index- 紙上報告 夏季研修会②

「聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当する教員研修会」
手話動画（HP 公開中）
「早期教育相談」をご存じですか？（後編）
文化祭 第17回「きこえない」を知る二日展



紙上報告！夏季研修会②

前号に引き続き、本校主催の研修会について掲載します。今号では、「第13回聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当する教員研修会」の様子について、紙上報告します。

第13回聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会 令和6年8月5日（月）参加者34名

**【全体講座】「きこえにくい子への様々なアプローチ
～ことば（英語）の獲得を中心に～」**
兵庫教育大学 准教授 中島武史先生

全体講座では、「きこえにくい子への様々なアプローチ ～ことば（英語）の獲得を中心に～」をテーマに、兵庫教育大学准教授の中島武史先生にお話していただきました。聴覚に障がいのある子どもたちのきこえ方の特徴や言語習得論について示していただいたうえで、ことば（英語）の習得に向けたアプローチのあり方について教えていただきました。



- ・2学期からはさっそく単語のシラブルを意識した勉強を取り入れていこうと思う。本日は貴重なお話をきかせていただき、ありがとうございました。
- ・ある程度きこえるため、集団授業のサポートをしながら英語の学習をしていけば徐々に力はつくと思いつけていた。英語の特性を理解させることや、別の学習方法（スクリプト）を行うことなど、今日の講話をきかない限り思いつかなかった。

- ・「大丈夫、困ってない」の一言に安心してしまっているところがあったように思います。きこえ方も個々ちがうということで、まずはそこから正確に把握したいと思います。
- ・主に英語の習得にむけたアプローチというテーマでしたが、様々な授業や生活の中でもいかにされるアプローチの仕方だったので、活用したいと思います。

【選択講座】

A 自立活動の学習を通して



- ・自分のできないこと、困っていることを理解する大切さを知ることができました。
- ・自立活動、たくさんの研修をうけましたが、今日の説明が一番わかりやすかったです。実際に、聴覚障がいがある先生のお話が聞けたのもありがたかったです。
- ・担当していただいた先生の経験を交えながらきけたのでよかったです。また、中央聴覚支援学校での実践も興味深いものがあった。

B 発音指導

- ・抽出の授業で、毎時間10分でも発音練習ができればと思う。
- ・力行がタ行になってしまう児童への対処法がわかり、希望が持てました。
- ・とてもわかりやすく、興味深くきくことができました。次は濁音、拗音なども教わりたいです。



C きこえと補聴機器



- ・耳のしくみや機器など、細かいところを初歩から教えていただけたので、わかりやすかったです。
- ・補聴器やロジャーの聞こえ方を体験したことがなかったので、体験できてよかったです。
- ・実際に補聴器を触ることができてよかったです。補聴器のケアの仕方もうわかり、実践できそうです。

D 手話

- ・学校で使える手話をきけたので、すぐに使えそうでした。
- ・いろいろな手話を学ぶことができました。
- ・初歩的なことから、実際に使えそうな手話まで、たくさん教えていただきました。



【実践交流会】

- ・皆さん同じような悩みを抱えているなど感じ、その中でも一人ひとりにあった工夫をされていて、**2学期以降活用していきたい実践がたくさんありました。**
- ・各学校の実践がきけて、具体的に想像しやすかったです。
- ・難聴児を受け入れるにあたって大切な基礎的なことを再確認することができました。
- ・他校の取り組みかたや支援の課題をうかがうことができ、**聴覚支援に関して視野が広がった**と思います。



アンケートのご協力、ありがとうございました！
冬には、教員研修会「みみネットアカデミー」の開催を企画しています。
詳細については、後日連絡します。ぜひ、ご参加ください。

手話動画（HP 公開中）

今回の研修会では、「手話」をテーマにした講座を行いました。本校支援部では、学校での教育活動で役立つ手話単語をピックアップして、本校ホームページ「手話動画」を掲載しています。本校で使用している手話を閲覧することができますので、ぜひご覧ください。

トップ > 地域支援

地域支援

- **手話動画** 「手話動画」を Click!
- 地域支援
- 通級指導教室の概要
- みみネット

手話動画

動画ご視聴時の留意点
教科名

最初に「留意点」を確認してください

早期教育担当より

「早期教育相談」をご存じですか？（後編）

小さいお子さんを育てている保護者の皆さんにとって、「ことばで伝える」ことが大きな願いだと思います。「できる限り音声で」や「手話を使って」などコミュニケーションの手段について多くの方が悩まれるところだと思います。ことばを覚えるために訓練をたくさんしなければならぬのではと考え、焦ってしまい子育てを楽しめないこともあります。でもその前に、子どもの心身の発達に目を向けることが大切になります。



親子でのかかわり

子どもの心身の
発達を促す

早期教育相談では、「親子でのかかわり」「子どもの心身の発達を促す」ことを大切にして、遊びをとおしての支援を行っています。春には、お花やちょうちょを探しにおさんぽへでかけたり、夏には寒天あそびや水遊びなどをしたりと、季節に合わせて体験的な内容を工夫しています。自然なかかわりの中での保護者とのやり取りをとおして、ことばを学んでいます。

また、月に1回程度聴力測定を行い補聴器や人工内耳の扱いやきこえについても保護者へ支援を行っています。

第17回「きこえない」を知る二日展

11月8日（金）及び9日（土）に、本校文化祭にて、**第17回「きこえない」を知る二日展**を開催します。今年度も本校支援部が中心となり、きこえない・きこえにくいとは何なのか、楽しみながら学べる展示を企画しています。皆様のご来場を、お待ちしております。

〈日時〉

11月8日（金） 13：30～15：30

11月9日（土） 9：00～15：00

〈場所〉本校新館1階ホール



展示内容

- Vuevo (ビューボ)
- カフェ「清浄 (しょうじょう)」
- 電話リレーサービス デモンストレーション
- 津波フラッグ



VUEVO (ビューボ)



みみネット No.344 でもご紹介した、発言内容を文字化する新しいサービス「VUEVO (ビューボ)」を展示します。複数人と会話する状況では、補聴器や人工内耳などを使用していたとしても、声の方向がわからない、ききわけが難しいといった課題があります。発言内容をリアルタイムで文字起こすサービスは多数ありますが、「VUEVO」の特長は、発言内容の文字化に留まらず、発話者の方向を把握できる点にあります。また、発言とほぼ同時、1秒以内に発話方向と内容を表示することができます。

当日は、開発会社の協力を得て、実物を展示する予定です。

ぜひ試していただき、「誰が話しているかが直観的にわかる」「情報の遅れをなくしより自然な会話を届ける」「Chat GPT による要約や会議の質をアップデートする先進機能」などの魅力を感じ取ってください。

(参考) VUEVO ホームページ <https://vuevo.net>

カフェ「清浄 (しょうじょう)」

今年、大阪・中崎町にオープンした、聴覚に障がいのある店員が活躍するカフェ「清浄 (しょうじょう)」を紹介します。特徴的なのは、基本的に声での会話は禁止で、注文などのやり取りは、筆談や指さし、手話を使ったコミュニケーションとなります。スタッフは、耳がきこえない・きこえづらい、大きな音が苦手といったような方々で、訪れる人にとっては、音声言語以外のコミュニケーションを取ることとなります。また、音があふれているストレス社会で音のデトックスを楽しむことにより、「ちょっと一息」を求



める人たちに支持されています。代表の方は、「雨の音や風の音など、普段意識してきいていない音を BGM に、ストレスからの解放や心地よさを楽しんでほしい。手話自体に興味を持つきっかけにもなれば」と話されています。

(参考) Instagram アカウント [shojo-cafe](https://www.instagram.com/shojo-cafe)

電話リレーサービス デモンストレーション

電話リレーサービスは、きこえにくい方や発話に困難のある方のための公共インフラとして運用が開始され、現在多くの方に利用が広がっています。

今回は、東京にある「日本財団 電話リレーサービス」の担当者に来ていただき、利用のしくみや登録方法について解説していただけます。きこえにくい方だけでなく、どなたでも体験していただけますので、ぜひ会場で電話リレーサービスを試してみてください。

(参考) 電話リレーサービス ホームページ <https://www.nftrs.or.jp>

津波フラッグ



津波フラッグは、長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインをした旗です。今年の8月には「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、地震や津波への意識がより一層高まりました。

海水浴場などで、もし津波が発生したら・・・この機会にぜひ「津波フラッグ」の実物を確認していただき、いざという時の備えにしていただけたらと思います。

「津波フラッグ」とは

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）が発表されたことをお知らせする旗です。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障がいのある方や、波音や風で音がききとりにくい遊泳中などにも、津波警報等の発表をお知らせすることができます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

(参考) 津波フラッグホームページ 気象庁 <https://www.data.jma.go.jp>

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：中咲、金森
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31
TEL. 06-7712-1405 (支援関係) / 06-6761-1419 (学校代表)
FAX. 06-6762-1800